令和８年度　熊本県相談支援従事者　初任者研修
講義（ｅラーニング）受講完了確認書（レポート）

レポートは初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入・捺印し、事務局へ郵送してください。

郵送先	〒862-0926 熊本市中央区保田窪 1-10-38 一般財団法人 保健福祉振興財団 熊本支部 熊本県相談支援初任者研修係
提出期限	**令和８年１２月９日（水）１７時必着**

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

講義（ｅラーニング）視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義の全動画（約 11 時間）を視聴いたしました。

受講番号：＿＿＿＿＿＿　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

科目名		視聴進捗	レポート確認欄
記入例	視聴完了後、記入したレポート科目にチェック	✔	✔
【講義１−１】	相談支援（障害児者支援）の目的		
【講義１−２】	相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点）		
【講義１−３】	相談支援に必要な技術		
【講義２−１−１】 【講義２−１−２】	相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス チームアプローチ（多職種連携）		
【講義２−２】	相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点		
【講義３−１】	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解		
【講義３−２】	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法における相談支援（サービス提供）の基本		

自己評価について

※獲得目標ごとの理解度を受講前と受講後、10 段階で自己評価してください（1：低い～10：高い）

［受講前］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［受講後］①受講後の学習効果を確認する。②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

科目名	【講義１－１】	講師名	
	相談支援（障害児者支援）の目的	テキストページ	２０～３２頁

獲得目標		自己評価 受講前	自己評価 受講後	気づきや理解した点等
1	相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。			
2	相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保､社会参加であることについて説明できる。			
3	相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。			
4	相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。			

科目名	【講義１－２】	講師名	
	相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点）	テキストページ	３３～５７頁

獲得目標		自己評価 受講前	自己評価 受講後	気づきや理解した点等
1	障害について正確に説明できる｡(医学モデルと社会モデル)			
2	スティグマについて説明できる。			
3	個別性の重視、リカバリーについて説明できる。			
4	生活者視点、ＱＯＬの重視について説明できる。			
5	本人主体、本人中心の支援について説明できる。			
6	自己決定（意思決定）の支援について説明できる。			
7	エンパワメント支援、ストレングスを活かした支援について説明できる。			
8	権利擁護について説明できる。			

科目名	【講義１−３】	講師名		
	相談支援に必要な技術	テキストページ	５８～７７頁	

獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等
		受講前	受講後	
1	障害児者の相談支援が立脚するソーシャルワークの理論について説明できる。			
2	ケアマネジメントの目的・基本的構造・プロセスについて説明できる。			
3	相談面接技術と記録とその重要性について説明できる。			

科目名	【講義２−１−１】【講義２−１−２】	講師名		
	相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス・チームアプローチ（多職種連携）	テキストページ	８０～１０８頁	

獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等
		受講前	受講後	
1	ケアマネジメントの展開およびサービス等利用計画作成について、流れと留意点を説明できる。			
2	多職種連携及びチームアプローチとその必要性・効果について説明できる。			

科目名	【講義２−２】	講師名		
	相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点	テキストページ	１０９～１２５頁	

獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等
		受講前	受講後	
1	障害者のある本人の意思と家族の思いや要望に違いがある場合、相談を受けた支援者としてどういった役割を果たしていけばいいのか説明できる。			
2	最新の地域資源に関する情報を幅広く得るために、日頃からどういった活動を行なっていくことが大切なのかを具体的に説明できる。			
3	「地域課題」がどのように見出されるのかを説明できる。			
4	（自立支援）協議会の目的について、「社会資源の開発」という言葉を使って説明できる。			

科目名	【講義３-１】	講師名	
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解	テキストページ	１２８～１８４頁

	獲得目標	自己評価 受講前	自己評価 受講後	気づきや理解した点等
1	障害福祉施策の経緯と動向､障害者総合支援法の概要ついて理解する。			
2	障害福祉サービス等の利用の仕組みについて理解する。			
3	苦情解決制度及び不服審査の仕組みついて理解する。			
4	障害福祉制度と介護保険制度の関係性について理解する。			
5	障害福祉計画及び障害児福祉計画の概要について理解する。			
6	地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する。			
7	自立支援協議会の位置付けと機能について理解する。			
8	障害者支援における権利擁護と虐待防止にかかる法律の概要について理解する。			
9	障害福祉サービス等の提供における意思決定支援ガイドラインについて理解する。			

科目名	【講義３-２】	講師名	
	障害者総合法律及び児童福祉法における相談支援(サービス提供)の基本	テキストページ	１８５～２０８頁

	獲得目標	自己評価 受講前	自己評価 受講後	気づきや理解した点等
1	相談支援事業の成り立ち（経緯）と相談支援事業の体系について理解する。			
2	相談支援専門員の役割について理解する。			
3	利用者の権利擁護や虐待防止を図るうえで相談支援専門員が果たす役割を理解する。			
4	障害福祉サービス等提の仕組みにおける相談支援(運営に関する基準やモニタリング等）について理解する。			
5	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法における相談支援(サービス提供）の基本			

【提出前に再確認】　提出前に、下記事項を再度ご確認いただき、必ず☑を記入して送付してください。

□　受講番号、署名、捺印がある

□　視聴進捗、レポート確認欄がすべて✓が記入されている

□【講義 1-1】から【講義 3-2】まで、講師名、自己評価（受講前・受講後）、気づきや理解した点等が全て記入されている

□　自己評価（受講前・受講後）を、10 段階で記入している（1：低い～10：高い）